

【NRC自主調査レポート】

# withコロナ、人々が望む今後のコミュニケーションのあり方に関する調査

2020年7月調査結果

2020年8月



日本リサーチセンター

Member of WIN and Gallup International Association

<https://www.nrc.co.jp/>

# 調査仕様・結果概要

## 調査目的

新型コロナウイルスの影響で人との直接の接触が減った代わりに、オンライン上でのやり取りが急速に進んだが、それでも人は人と直接会いたいのではないかなどの意識を調査する。

## 設問

- ・人と直接会う機会は減ったか
- ・オンライン上でのコミュニケーションは増えたか
- ・オンライン上で人とコミュニケーションをとれていたか
- ・現在、人と直接会うことについてどう思っているか
- ・人と直接会いたくなる理由
- ・今後、あなたが望むコミュニケーションのあり方

## 調査方法

インターネット調査

## 調査期間

7月14日(火)～21日(火)

## サンプル数

1,403サンプル(全国の男女15歳～69歳)

※2019年1月1日住基（日本人）を基に人口とエリアで割付

※各エリアの内訳は以下の通り

北海道・東北：北海道、青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島

関東：茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨、長野

中部・北陸：新潟、富山、石川、福井、岐阜、静岡、愛知、三重

近畿：滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山

中国・四国・九州：鳥取、島根、岡山、広島、山口、徳島、香川、愛媛、高知、福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄

## 調査結果概要

withコロナにおける、【プライベート】での今後のコミュニケーションのあり方は、全体では「直接会うほうがよい計」が6割弱と「オンラインでよい計」の1割半ばを大きく上回った。

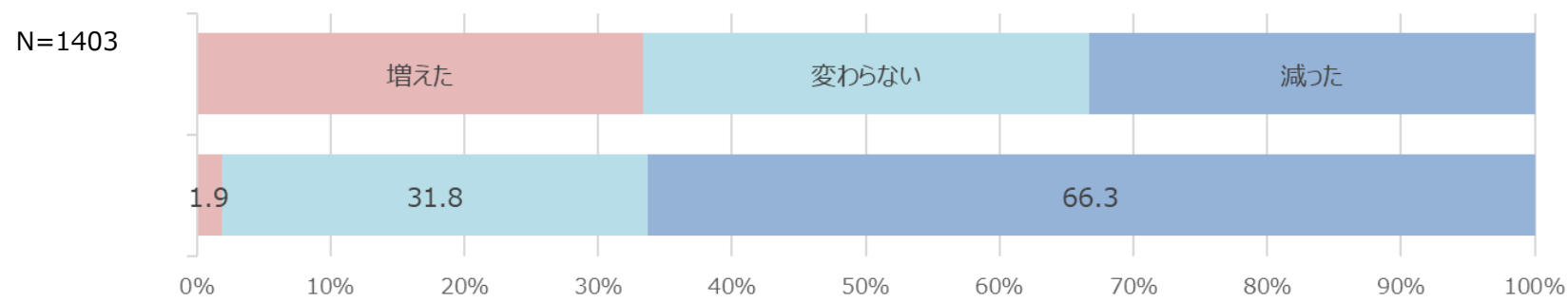
人と直接会うことは、話が進みやすく、相手の雰囲気や人柄がより伝わることなどに繋がることから、オンラインでコミュニケーションがとれても、人は人と直接会いたい気持ちがあることがわかった。



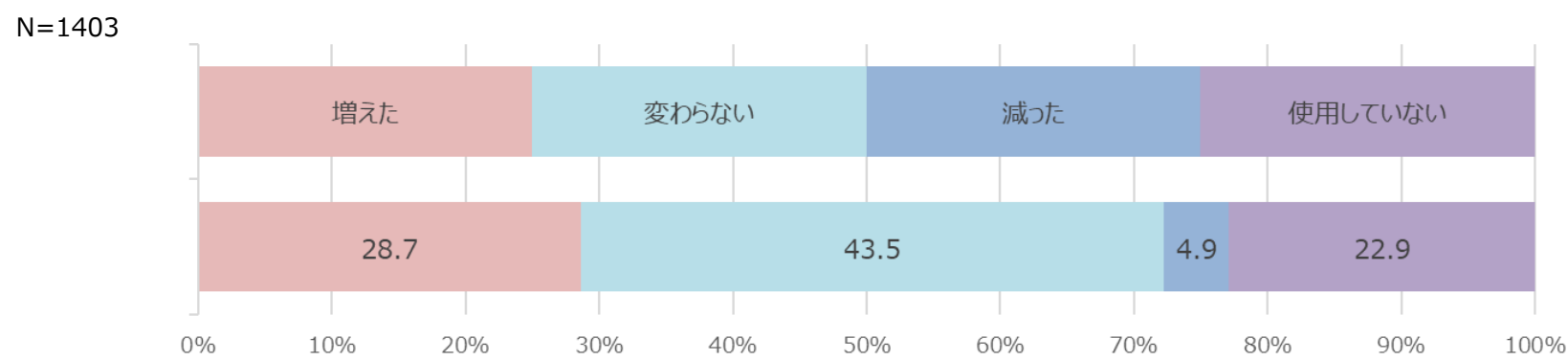
コロナで人と会う機会は減ったか、それに伴いオンラインでのコミュニケーションは増えたか

**調査結果詳細**  
新型コロナウイルス感染症(別名：COVID-19)拡大による全国での緊急事態宣言中(4月16日～5月25日)、コミュニケーションにおいて人と直接会う機会が減ったかを尋ねたところ、全体では「減った」が66.3%と最も高い。  
また、全国での緊急事態宣言中、オンラインでの人とのコミュニケーションが増えたかを尋ねたところ、「増えた」が28.7%、「変わらない」が43.5%、「減った」が4.9%、「使用していない」が22.9%であった。

Q1. あなたは、新型コロナウイルス感染症(別名：COVID-19)拡大による全国での緊急事態宣言中(4月16日～5月25日)、コミュニケーションにおいて人と直接会う機会は減りましたか。□ 2019年と比較してお答えください。(ビジネス・学校、プライベートも含めてお答えください。なお、同居者は除いてください。)(1つだけ)



Q2. あなたは、全国での緊急事態宣言中(4月16日～5月25日)、オンラインでの人とのコミュニケーション（ビデオ通話、メール、SNSなど）は増えましたか。2019年と比較してお答えください。(ビジネス・学校、プライベートも含めてお答えください。)(1つだけ)

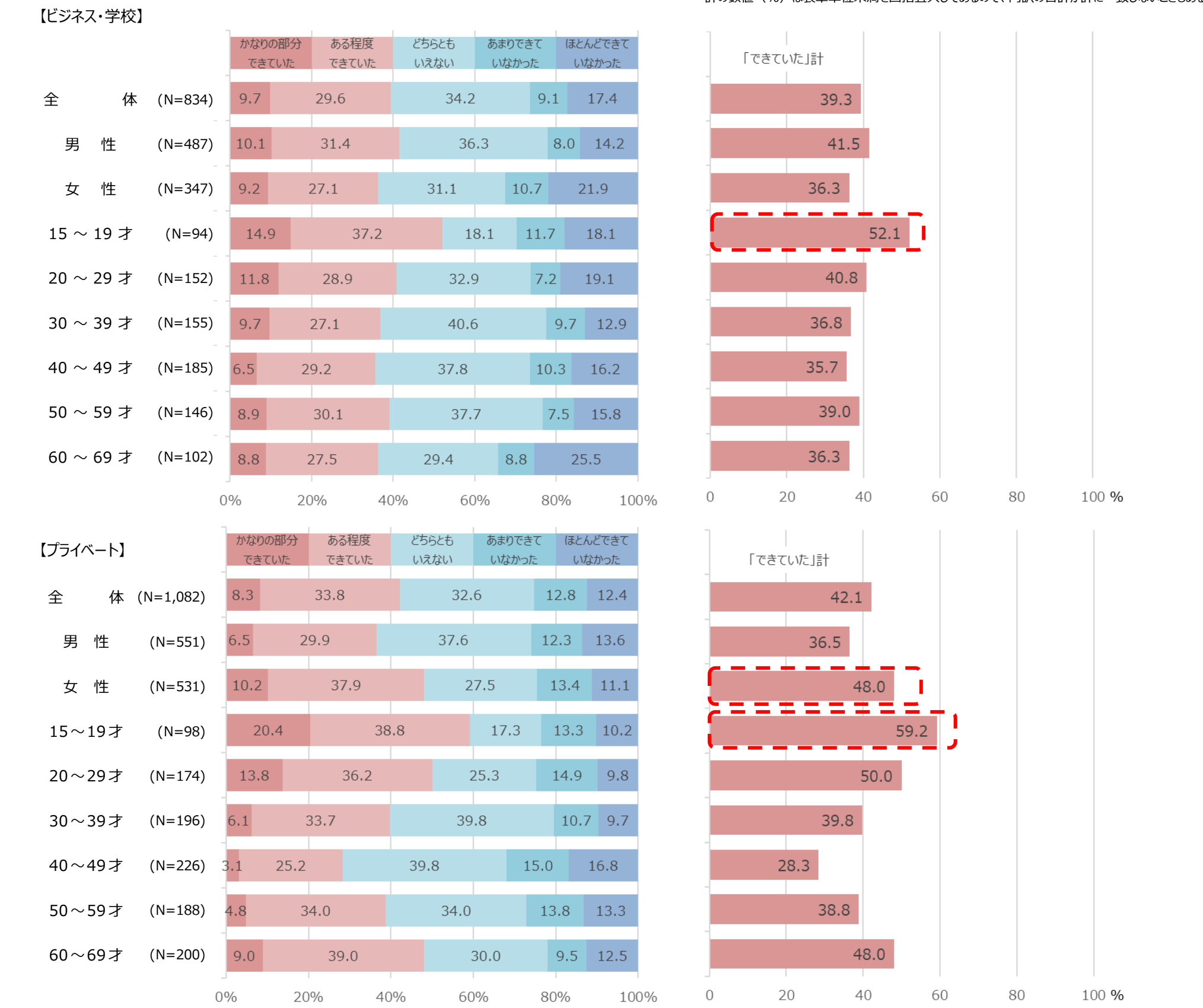


オンラインでのコミュニケーションがとれていたかと、現在人と直接会うことをどう思っているか

**調査結果詳細** ※「かなりの部分できていた」と「ある程度できていた」の合計「できていた計」に着目してコメントしている  
Q2でオンラインでのコミュニケーションが「増えた」「減った」「変わらない」と回答した人に、オンライン上で人とコミュニケーションをとれていたか尋ねた。  
（【ビジネス・学校】は有職者または学生に絞っている。以降の質問も同様）  
【ビジネス・学校】を年代別で見ると、15～19才の「できていた計」が52.1%と全体と比べて高い。  
【プライベート】を性別でみると、女性の「できていた計」が48.0%と男性と比べて高い。  
年代別で見ると、15～19才の「できていた計」が59.2%と全体と比べて高い。

Q3. あなたは全国での緊急事態宣言中、オンライン上で人とコミュニケーションをとっていましたか（1つだけ）

計の数値（%）は表章単位未満を四捨五入してあるので、内訳の合計が計に一致しないこともある

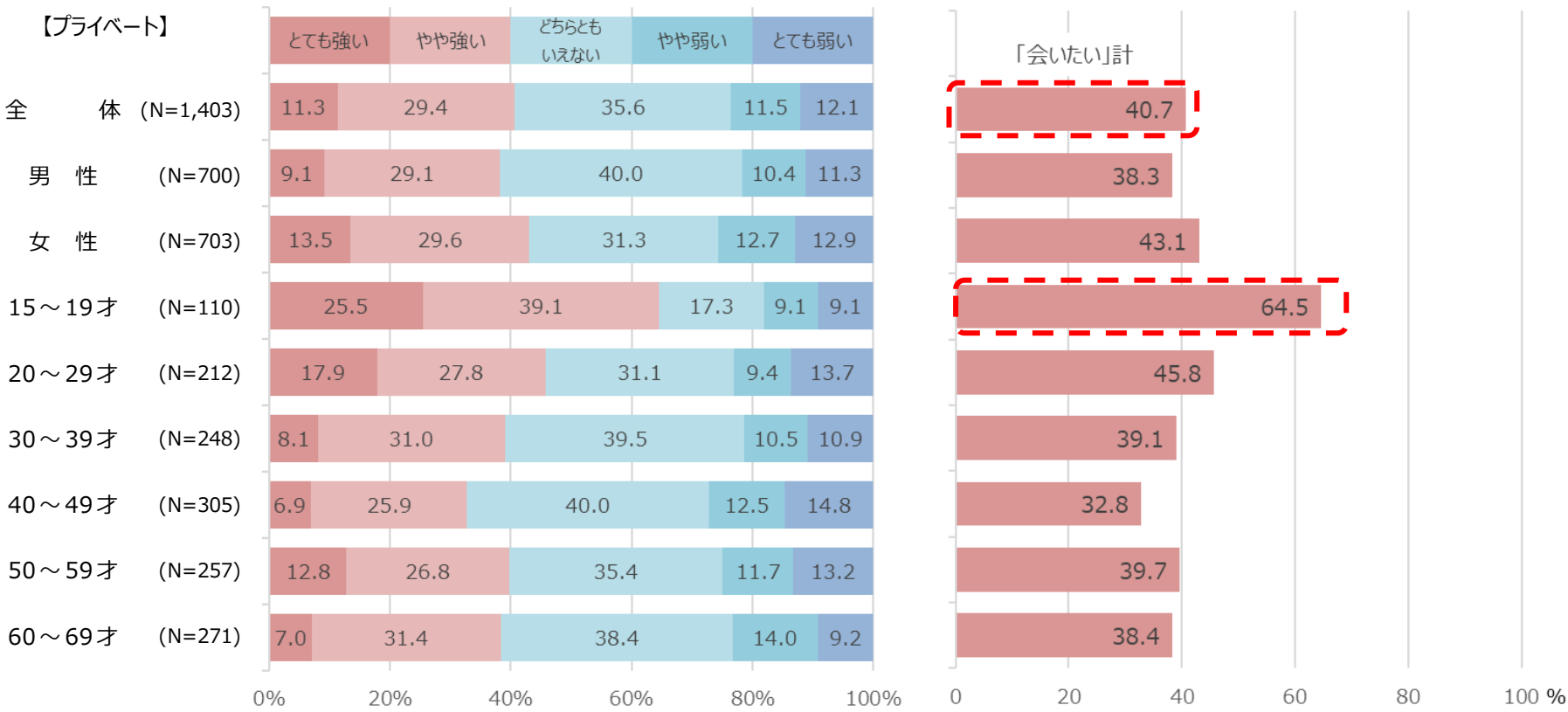
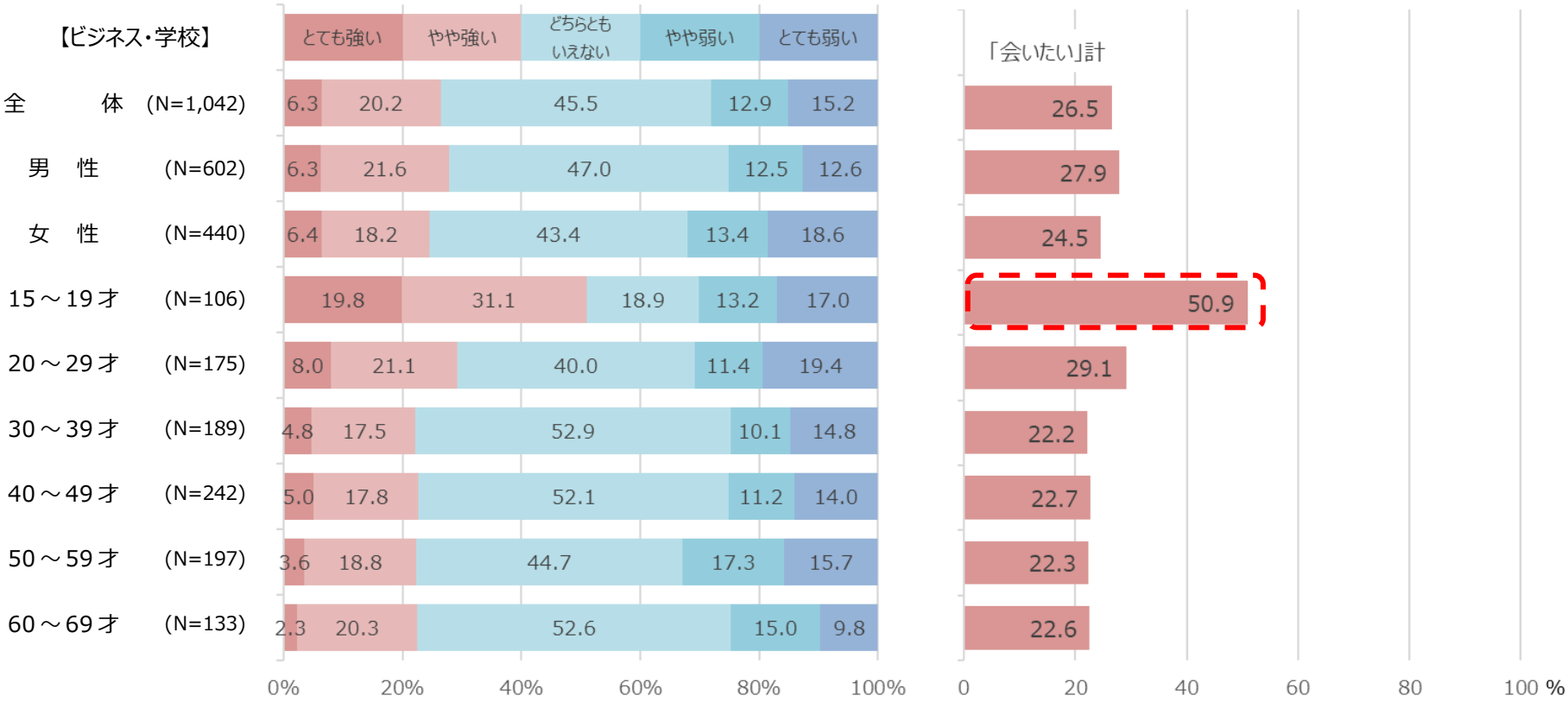


調査結果詳細 ※「人と直接会いたい気持ちがとても強い」と「人と直接会いたい気持ちやや強い」合計「会いたい計」に着目してコメントしている

続いて、あなたは現在、人と直接会うことについてどのように思うか尋ねた。  
【ビジネス・学校】を年代別で見ると、15～19才の「会いたい計」が50.9%と全体と比べて高い。  
【プライベート】を年代別で見ると、15～19才の「会いたい計」が64.5%と全体と比べて高い。  
【ビジネス・学校】と【プライベート】を比較した。全体で見ると、【プライベート】の「会いたい計」は40.7%で、【ビジネス・学校】の「会いたい計」26.5%よりも高い。年代別で見ると、15～19才が唯一、「会いたい計」が【ビジネス・学校】【プライベート】ともに5割を超えた。  
Q3とQ4を年代別で比較すると、【ビジネス・学校】はQ3「できていた計」がQ4「会いたい計」よりも高い傾向があるが、【プライベート】はQ3「できていた計」とQ4「会いたい計」が60代を除いて同程度の傾向となっている。オンライン上でのやり取りができていても、人と直接会いたい気持ちが弱くなるわけではないことがうかがえる。

Q4. あなたは現在、人と直接会うことについてどのように思いますか（1つだけ）

計の数値（%）は表章単位未満を四捨五入してあるので、内訳の合計が計に一致しないこともある





どんなときに人と直接会いたい、そして今後のコミュニケーションのあり方

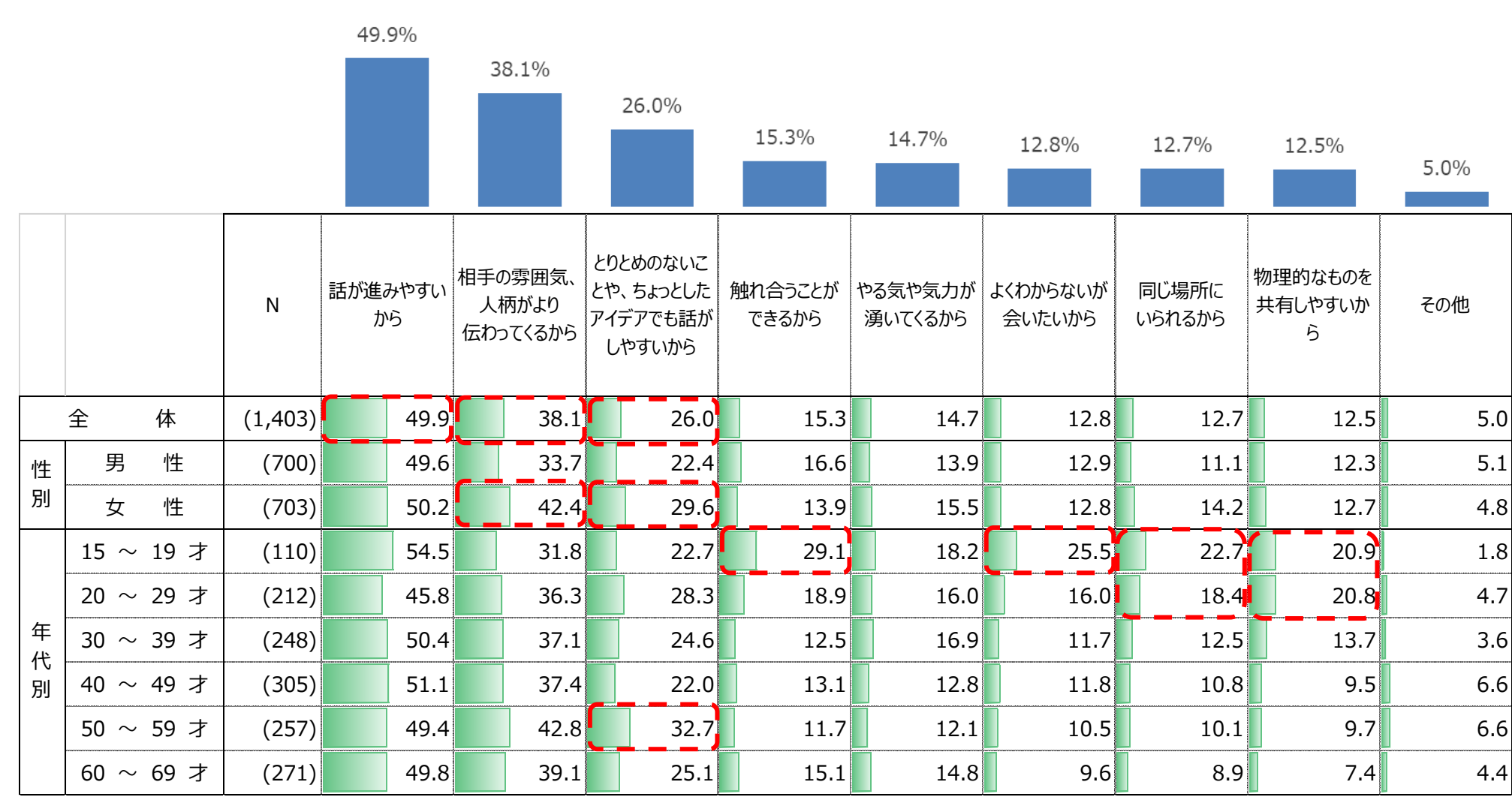
調査結果詳細

あなたが、人と直接会いたい気持ちになる理由を尋ねたところ、全体では「話が進みやすいから」が49.9%と最も高い。次いで「相手の雰囲気、人柄がより伝わってくるから」が38.1%、「とりとめのないことや、ちょっとしたアイデアでも話がしやすいから」が26.0%と続く。

性別で見ると、女性の「相手の雰囲気、人柄がより伝わってくるから」が42.4%、「とりとめのないことや、ちょっとしたアイデアでも話がしやすいから」が29.6%と男性に比べて高い。

年代別で見ると、15～19才は「触れ合うことができるから」が29.1%、「よくわからないが会いたいから」が25.5%と全体と比べて高い。20代も含めて、「物理的なものを共有しやすいから」がそれぞれが20.9%と20.8%、「同じ場所にいられるから」が22.7%と18.4%で全体と比べて高い。50代は「とりとめのないことや、ちょっとしたアイデアでも話がしやすいから」と回答した人が32.7%と全体と比べて高い。30～40代、および60代は全体と比べて特に高い項目は見られない。

Q5. あなたが、人と直接会いたい気持ちになる理由をお知らせください（いくつでも）



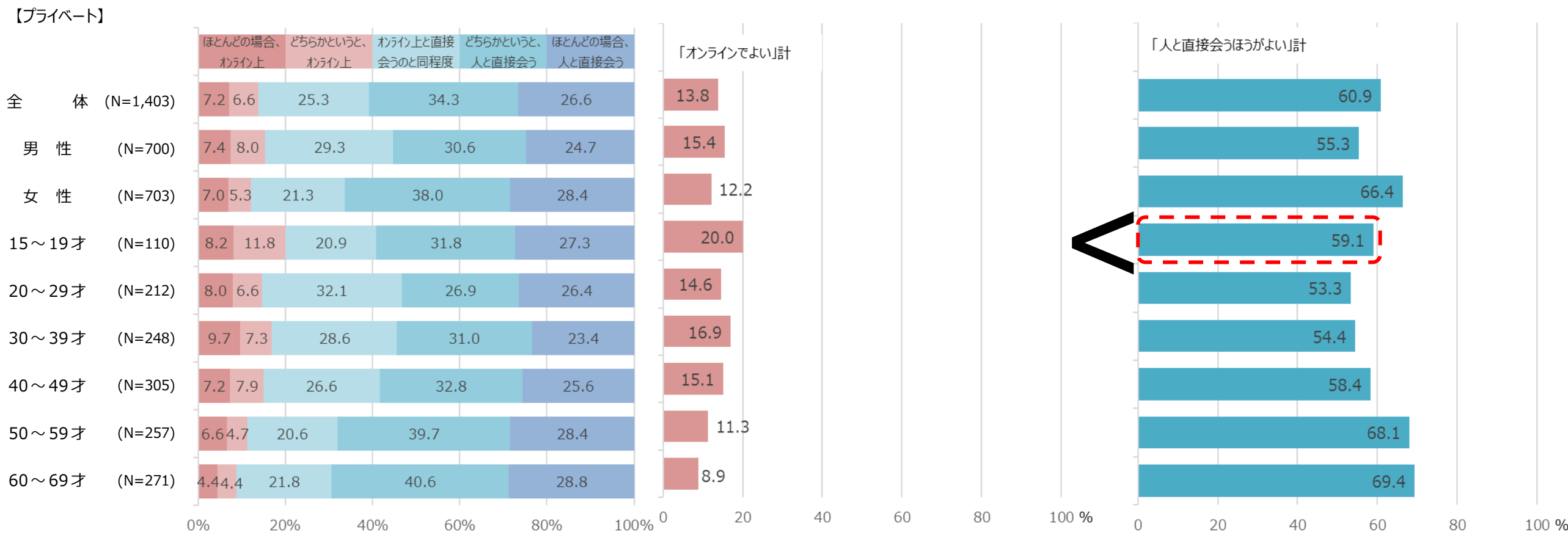
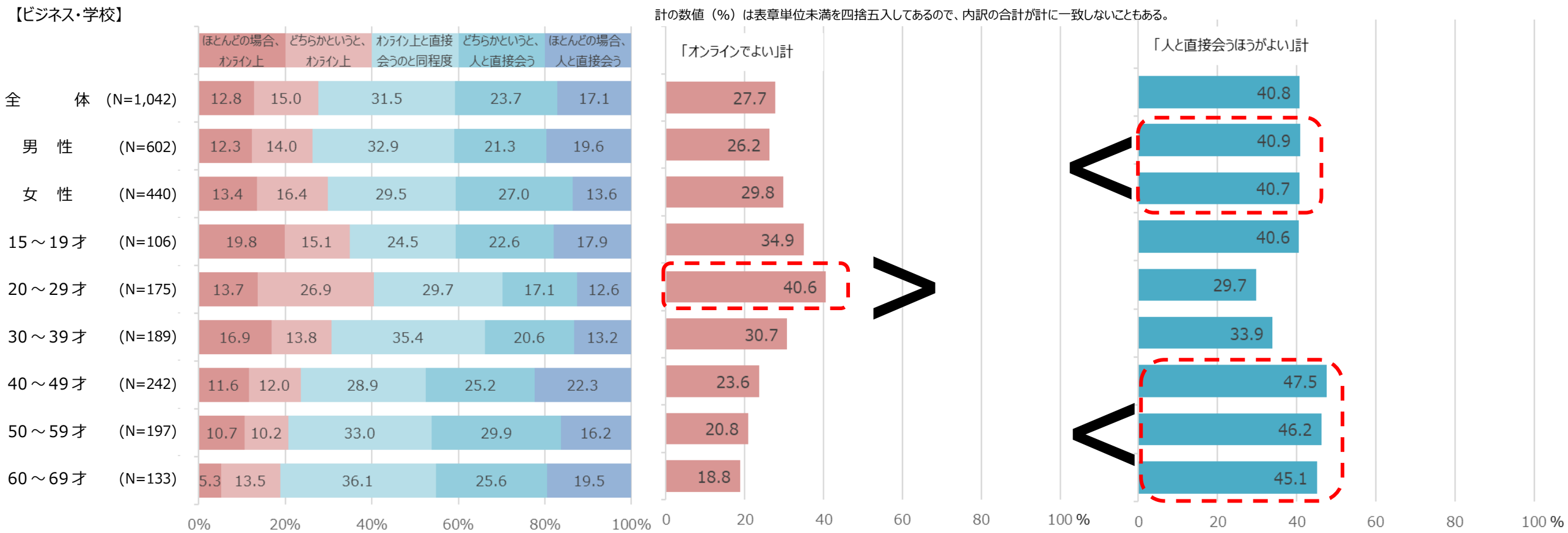


調査結果詳細 ※「ほとんどの場合、オンライン上でのやり取りでよい」と「どちらかというと、オンライン上でのやり取りでよい」の合計「オンラインでよい計」  
「ほとんどの場合、人と直接会うほうがよい」と「どちらかというと、人と直接会うほうがよい」の合計「直接会うほうがよい計」に着目してコメントしている

今後のコミュニケーションにおいて、人と直接会う割合とオンライン上でやり取りする割合はどのぐらいがよいと思うか尋ねた。  
【ビジネス・学校】について、「オンラインでよい計」と「直接会うほうがよい計」のどちらが高いかを性別で見ると、男女ともに「直接会うほうがよい計」がそれぞれ40.9%と40.7%で、「オンラインでよい計」の26.2%、29.8%よりも高い。  
年代別で見ると、20代では「オンラインでよい計」が40.6%で「直接会うほうがよい計」29.7%よりも高い。40代は「直接会うほうがよい計」が47.5%で「オンラインでよい計」23.6%よりも高い。50代は「直接会うほうがよい計」が46.2%で「オンラインでよい計」20.8%よりも高い。60代は「直接会うほうがよい計」が45.1%で「オンラインでよい計」18.8%よりも高い。15～19才、30代は「オンラインでよい計」と「直接会うほうがよい計」に大きな違いは見られない。

【プライベート】について、すべての性年代で「直接会うほうがよい計」のうほうが「オンラインでよい計」を大きく(差が最も小さい年代で約37ポイント)上回っている。特に約6割がオンラインでコミュニケーションができていた15～19才でも(Q3プライベート参照)、【プライベート】においては「直接会うほうがよい計」が59.1%と、「オンラインでよい計」の20.0%よりも高い。  
また、オンライン上でどのくらいコミュニケーションをとれていたかを軸に、今後のコミュニケーションのあり方を見ていくと、Q3の【プライベート】でオンラインでのコミュニケーションが「できていた計」と回答した人でも、Q6では「直接会うほうがよい計」と回答した人は59.9%おり、オンライン上でコミュニケーションがとれていたとしても、直接会いたい気持ちがあることがうかがえる。

Q6. 今後のコミュニケーションにおいて、人と直接会う割合とオンライン上でやり取りする割合はどのぐらいがよいと思いますか (1つだけ)



Q3. あなたは全国での緊急事態宣言中、オンライン上で人とコミュニケーションをとっていましたか (1つだけ) × Q6. 今後のコミュニケーションにおいて、人と直接会う割合とオンライン上でやり取りする割合はどのぐらいがよいと思いますか (1つだけ)

|    |           | Q6    |           |                  |            |
|----|-----------|-------|-----------|------------------|------------|
| Q3 | 【プライベート】  | 全体    | オンラインでよい計 | オンライン上と直接会うのと同程度 | 直接会うほうがよい計 |
|    | 全体        | 1,403 | 13.8      | 25.3             | 60.9       |
|    | できていた計    | 456   | 16.4      | 23.7             | 59.9       |
|    | どちらともいえない | 353   | 10.8      | 38.5             | 50.7       |
|    | できていなかった計 | 273   | 15.4      | 17.2             | 67.4       |

《引用・転載時のお願い》

本レポートの外部への引用・転載の際は、下記連絡先にメールにて掲載のご連絡をお願い致します。

連絡先：日本リサーチセンター広報室 (information@nrc.co.jp)

担当：営業企画本部営業企画部第3チーム 中垣 花瑠奈

掲載では必ず当社クレジットを明記していただき、調査結果のグラフ・表をご利用の場合も、データ部分に当社クレジットの掲載をお願い致します。